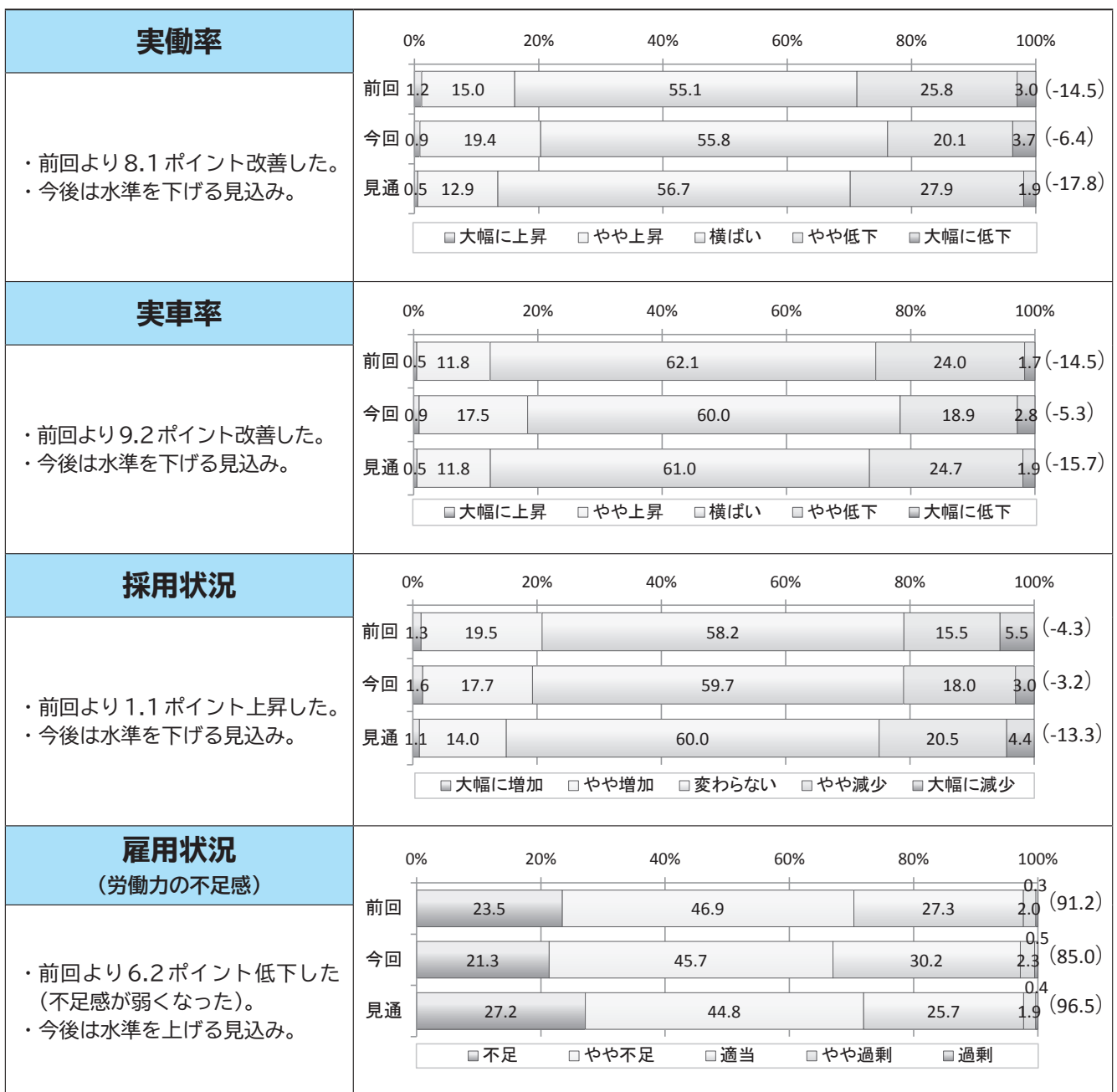


全日本トラック協会

トラック運送業界の景況(速報)～令和元年7月～9月期～

共通の概況①：今回(令和元年7月～9月期)の状況と今後の見通し

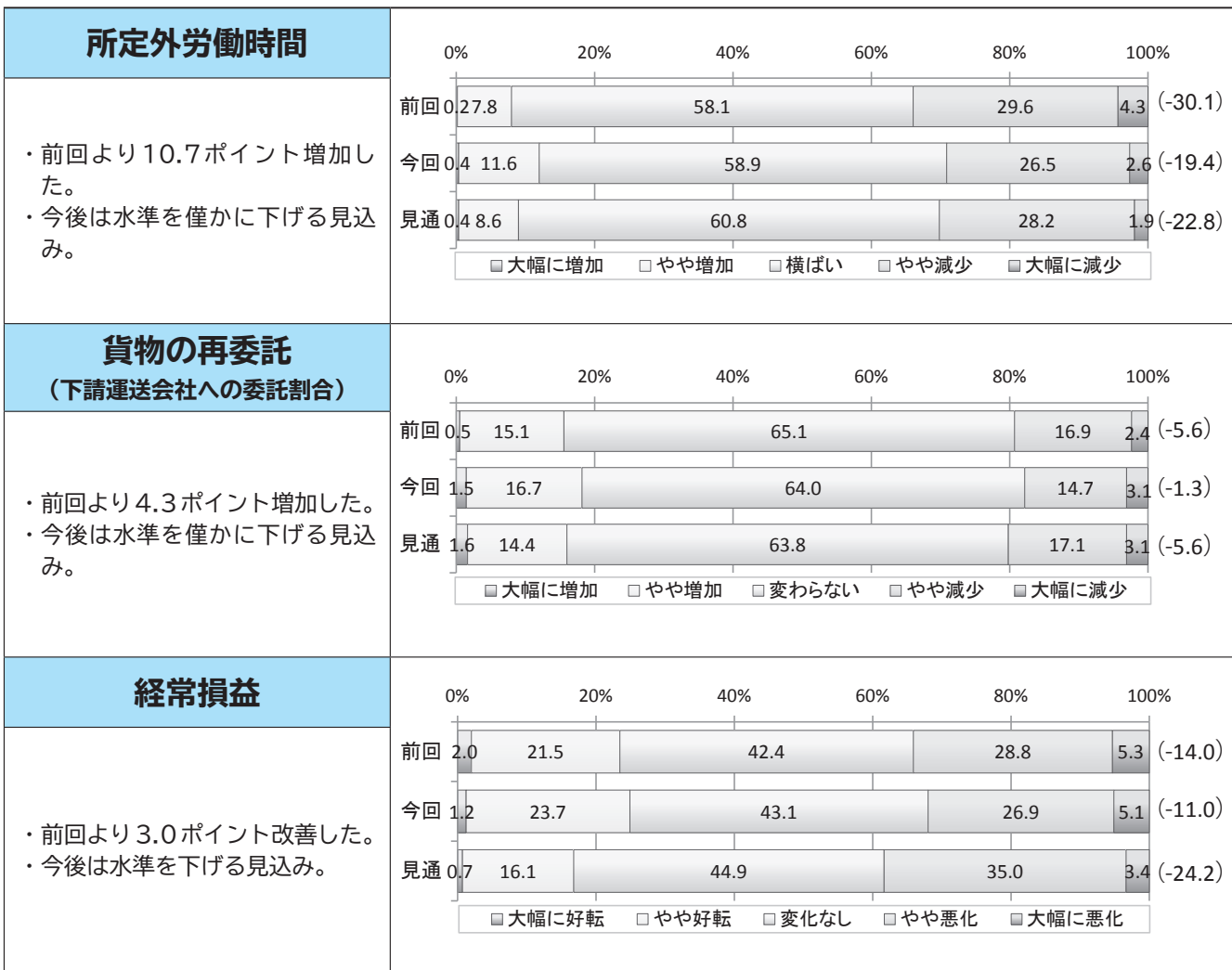
今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・実働率は▲6.4(前回▲14.5)と8.1ポイント改善、実車率は▲5.3(前回▲14.5)と9.2ポイント改善し、前回と比較して輸送効率は改善した。 ・採用状況は▲3.2(前回▲4.3)と1.1ポイント上昇し、雇用状況(労働力の不足感)は85.0(前回91.2)と6.2ポイント低下し、労働力の不足感は弱まった。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・実働率は▲17.8(今回▲6.4)と11.4ポイント悪化、実車率は▲15.7(今回▲5.3)と10.4ポイント悪化し、輸送効率は悪化する見込みである。 ・採用状況は▲13.3(今回▲3.2)と10.1ポイント悪化することから、雇用状況(労働力の不足感)は96.5(今回85.0)と11.5ポイント上昇し、労働力の不足感は強まる見込みである。



※雇用状況については、上段は前回(H31.4月～R1.6月期)の状況、中段は今回(R1.7月～9月期)の状況、下段は今後(R1.10月～12月期)の見通しを示しているが、前回及び今回は前年同期比ではなく「その期の状況」を、見通しは「前年同期比の見通し」を集計している。

共通の概況②：今回(令和元年7月～9月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> 所定外労働時間は▲19.4(前回▲30.1)と10.7ポイント増加し、貨物の再委託(下請運送会社への委託割合)は▲1.3(前回▲5.6)と4.3ポイント増加した。 経常損益は▲11.0(前回▲14.0)と3.0ポイント改善した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 所定外労働時間は▲22.8(今回▲19.4)と3.4ポイント減少、貨物の再委託は▲5.6(今回▲1.3)と4.3ポイント減少する見込みである。 経常損益は▲24.2(今回▲11.0)と13.2ポイント悪化し、経常損益の水準は落込む見込みである。



【調査の概要】

平成5年3月より開始、以降3カ月ごとに実施。第107回調査は、令和元年10月1日に、モニターに対して調査開始、令和元年10月31日回収分までを集計。

特積	一般	回答事業者全体
87	540	567

※一部回答事業者の重複あり



詳細版については、当協会ホームページからダウンロードできます。

<http://www.ishitokyo.or.jp/>
HOME > 最新情報